

2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9147 URL <https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 充  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大槻 秀史 (TEL) 03-5801-1000  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	1,963,597	—	100,669	—	107,706	—	117,652	—
2021年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 166,748百万円(—%) 2021年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	1,301.72	—
2021年12月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2022年1月4日に日本通運株式会社の単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	1,760,722	780,978	43.0
2021年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 757,698百万円 2021年12月期 一百万円

(注) 当社は、2022年1月4日に日本通運株式会社の単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期	—	250.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	150.00	400.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2022年1月4日に日本通運株式会社の単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

2022年12月期の第2四半期末配当金につきましては、記念配当150円を含んでおります。

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650,000	—	130,000	—	138,000	—	134,000	—	1,492.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2022年1月4日に日本通運株式会社の単独株式移転により設立されたため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	90,599,225株	2021年12月期	一株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	800,887株	2021年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	90,382,362株	2021年12月期3Q	一株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、自己株式数に含めておりません。

役員報酬BIP信託保有株式数 2022年12月期3QT 112,609株 2021年12月期 一株

(上記「期末自己株式数」に含む)

当社は、2022年1月4日に日本通運株式会社の単独株式移転により設立されたため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 2022年8月10日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。
- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・ 当社は、2022年11月9日に機関投資家及びアナリスト向けの電話会議を開催する予定です。その会議で配布する資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。
- ・ 当第3四半期連結累計期間(2022年1月1日から2022年9月30日まで)の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった日本通運株式会社の四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2)財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考資料	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2022年1月4日に日本通運株式会社の単独株式移転により、日本通運株式会社及びその子会社の純粋持株会社として設立されました。連結の範囲につきましては、それまでの日本通運株式会社の連結の範囲と実質的な変更はありません。

また、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった日本通運株式会社の四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症が再拡大するなか、日本を含む多くの国では経済優先の方向性が明確になりましたが、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が長期化することで、エネルギーや原材料価格の上昇と、それに伴うインフレ圧力の増大、インフレ抑制のための各国中央銀行の金融引き締めが行われた結果、コロナ後の世界経済の回復を牽引してきた先進各国に急ブレーキがかかる状況となり、前期にも増して、世界経済の景気後退リスクが高まっており、先行きが見通せない状況にありました。

このような経済情勢の中、物流業界におきましても、主要国の景気減速傾向に伴い、国際貿易に関しては、昨年来継続していた航空輸送・海上輸送の需給逼迫状況が、徐々に緩和する傾向が見られ、輸送ニーズのトレンドにも変化が生じ始めていますが、国内においては、ロックダウンに伴う部品調達などへの影響が解消されたことによる反動増や、企業業績好調に伴う設備投資などの動きもあり、全体として緩やかな回復が見られる状況となりました。引き続き、エネルギー価格上昇に伴う燃油費等の上昇や、各種調達コストの上昇など、その動向に注視が必要な状況にあります。

こうした経営環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、航空運送・海上運送を中心とした国際貨物の輸送需要が伸長したことから、各セグメントとも概ね好調に推移しました。

この結果、売上高は1兆9,635億円、営業利益は1,006億円、経常利益は1,077億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,176億円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1兆7,607億円となりました。

その主な内訳は、現金及び預金3,062億円、売掛金及び契約資産4,270億円など、流動資産が8,412億円、有形固定資産6,672億円、投資有価証券1,067億円など、固定資産が9,194億円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、9,797億円となりました。

その主な内訳は、買掛金2,046億円、短期償還社債300億円など、流動負債が5,925億円、社債1,100億円など、固定負債が3,872億円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、7,809億円となり、自己資本比率は43.0%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月10日に公表いたしました2022年12月期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり修正いたしました。

なお、連結業績予想に関する事項につきましては、「3. 参考資料 2022年12月期見通し」をあわせてご参照ください。

## ① 業績予想の修正について

2022年12月期通期 連結業績予想数値の修正  
(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2022年8月10日公表)	百万円 2,600,000	百万円 120,000	百万円 125,000	百万円 125,000	円 銭 1,381.44
今回修正予想 (B)	2,650,000	130,000	138,000	134,000	1,492.23
増減額 (B-A)	50,000	10,000	13,000	9,000	
増減率 ( % )	1.9	8.3	10.4	7.2	

## ② 業績予想修正の理由

売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益について、主にロジスティクス各セグメントにおける第3四半期連結累計期間の業績が想定を上回ったこと、ならびに第4四半期においてもロジスティクスセグメントの業績が堅調に推移すると想定されるため、通期の業績予想を上方修正いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループの事業への影響は、前回発表予想と同様に限定的であると想定しております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウンなどの大規模な社会的制限について、想定、反映はしておりません。

## ※ 業績予想に関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断し作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	306,264
受取手形	21,219
売掛金及び契約資産	427,002
棚卸資産	16,179
その他	73,914
貸倒引当金	△3,334
流動資産合計	841,246
固定資産	
有形固定資産	
車両運搬具(純額)	47,358
建物(純額)	264,721
土地	188,394
その他(純額)	166,803
有形固定資産合計	667,278
無形固定資産	
のれん	3,617
その他	81,623
無形固定資産合計	85,240
投資その他の資産	
投資有価証券	106,731
その他	61,231
貸倒引当金	△1,005
投資その他の資産合計	166,957
固定資産合計	919,476
資産合計	1,760,722
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形	6,364
買掛金	204,651
短期借入金	75,912
未払法人税等	44,419
賞与引当金	32,489
その他の引当金	236
その他	228,449
流動負債合計	592,522
固定負債	
社債	110,000
長期借入金	60,772
その他の引当金	1,890
退職給付に係る負債	113,875
その他	100,682
固定負債合計	387,221
負債合計	979,744

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間  
(2022年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	70,175
資本剰余金	22,624
利益剰余金	592,413
自己株式	△5,842
株主資本合計	679,369
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	32,267
繰延ヘッジ損益	△78
為替換算調整勘定	42,392
退職給付に係る調整累計額	3,746
その他の包括利益累計額合計	78,328
非支配株主持分	23,280
純資産合計	780,978
負債純資産合計	1,760,722

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,963,597
売上原価	1,762,995
売上総利益	200,602
販売費及び一般管理費	99,932
営業利益	100,669
営業外収益	
受取利息	342
受取配当金	2,033
為替差益	5,691
その他	4,010
営業外収益合計	12,077
営業外費用	
支払利息	2,367
持分法による投資損失	310
その他	2,361
営業外費用合計	5,040
経常利益	107,706
特別利益	
固定資産売却益	68,863
投資有価証券売却益	1,682
その他	3
特別利益合計	70,549
特別損失	
固定資産処分損	4,615
ブランドシンボル変更費用	1,413
その他	338
特別損失合計	6,366
税金等調整前四半期純利益	171,888
法人税等	51,649
四半期純利益	120,239
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,586
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,652

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	120,239
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,853
繰延ヘッジ損益	△10
為替換算調整勘定	36,978
退職給付に係る調整額	7,096
持分法適用会社に対する持分相当額	590
その他の包括利益合計	46,509
四半期包括利益	166,748
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	162,599
非支配株主に係る四半期包括利益	4,149

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	ロジスティクス				
	日本	米州	欧州	東アジア	南アジア・オセアニア
売上高					
外部顧客への売上高	1,074,293	97,134	149,661	175,114	149,660
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,374	21,972	8,278	14,405	23,522
計	1,094,667	119,107	157,939	189,520	173,183
セグメント利益	50,710	9,635	9,233	10,452	16,667

	警備輸送	重量品建設	物流サポート	計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高						
外部顧客への売上高	51,428	32,409	233,894	1,963,597	—	1,963,597
セグメント間の内部売上高又は振替高	53	134	68,345	157,086	△157,086	—
計	51,482	32,543	302,240	2,120,683	△157,086	1,963,597
セグメント利益	617	4,161	12,184	113,663	△12,994	100,669

(注) 1 セグメント利益の調整額 △12,994百万円には、セグメント間取引消去 △1,643百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △11,370百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社の企業イメージ広告に要した費用及びグループ管理費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社は、2022年1月4日に日本通運株式会社の単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

## 3. 参考資料

## ○連結(要約)損益計算書

(単位:百万円、%)

		当第3四半期 連結累計期間	係数	
事業別売上高	運送事業	自動車	279,054	14.2
		海運	323,863	16.5
		航空	536,864	27.3
		倉庫・保管庫	252,831	12.9
		警備輸送	50,748	2.6
		重量品建設	50,431	2.6
		その他	220,042	11.2
	計	1,713,836	87.3	
	販売事業	217,807	11.1	
	その他	31,953	1.6	
計	1,963,597	100.0		
売上原価	人件費	324,128	16.5	
	利用運送費	536,912	27.3	
	外注費	354,826	18.1	
	その他	547,127	27.9	
計	1,762,995	89.8		
売上総利益		200,602	10.2	
販売費及び一般管理費計	人件費	55,647	2.8	
	その他	44,285	2.3	
	計	99,932	5.1	
営業利益		100,669	5.1	
営業外収益	受取利息	342	0.0	
	受取配当金	2,033	0.1	
	その他	9,701	0.5	
営業外収益		12,077	0.6	
営業外費用	支払利息	2,367	0.1	
	持分法による投資損失	310	0.0	
	その他	2,361	0.1	
営業外費用		5,040	0.3	
経常利益		107,706	5.5	
特別利益	固定資産売却益	68,863	3.5	
	投資有価証券売却益	1,682	0.1	
	その他	3	0.0	
特別利益		70,549	3.6	
特別損失	固定資産処分損	4,615	0.2	
	ブランドシンボル変更費用	1,413	0.1	
	その他	338	0.0	
特別損失		6,366	0.3	
税金等調整前四半期純利益		171,888	8.8	
法人税等		51,649	2.6	
四半期純利益		120,239	6.1	
非支配株主に帰属する四半期純利益		2,586	0.1	
親会社株主に帰属する四半期純利益		117,652	6.0	
総人件費	売上原価	324,128	16.5	
	販売費及び一般管理費	55,647	2.8	
	計	379,776	19.3	

(注) 当社は、2022年1月4日に日本通運株式会社の子会社株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

○2022年12月期見通し

(単位：百万円、%)

			2022年度	
売上高	報告セグメント	ロジステイクス	日本	1,462,300
			米州	167,000
			欧州	218,800
			東アジア	262,700
			南アジア・オセアニア	232,300
			計	2,343,100
		警備輸送	69,000	
		重量品建設	45,400	
		物流サポート	414,300	
		計	2,871,800	
	調整額	△ 221,800		
	計	2,650,000		
セグメント利益(営業利益)	報告セグメント	ロジステイクス	日本	( 4.6 ) 66,600
			米州	( 7.8 ) 13,000
			欧州	( 5.5 ) 12,000
			東アジア	( 5.2 ) 13,700
			南アジア・オセアニア	( 8.7 ) 20,300
			計	( 5.4 ) 125,600
		警備輸送	( 1.4 ) 1,000	
		重量品建設	( 11.7 ) 5,300	
		物流サポート	( 3.9 ) 16,000	
		計	( 5.2 ) 147,900	
	調整額	△ 17,900		
	計	( 4.9 ) 130,000		

(注) ( )内は利益率